

第 74 回 原子力安全専門委員会定例会（議事概要）

日 時：令和 5 年 3 月 9 日（木）10：00～10：30

場 所：県庁 10 階 防災センター

出席委員：鞍谷委員長、泉委員、片岡委員、西本委員、藤野委員

（WEB 出席）大堀委員、近藤委員、黒崎委員、望月委員、山本（章）委員、山本（雅）委員、吉橋委員

議 題：

- （１）原子力発電所周辺の環境放射能調査について
 - ・ 令和 4 年度 第 3 四半期（10 月～12 月）報告
 - ・ 令和 5 年度 計画
- （２）発電所の運転・建設および廃止措置状況について
 - ・ 令和 4 年 12 月～令和 5 年 2 月分報告

概 要：

- 原子力発電所周辺の環境放射能調査の結果、発電所の運転および廃止措置状況について、事務局より説明
- 資料については、次の原子力環境安全管理協議会の場で配付予定

（原子力発電所周辺の環境放射能調査）

令和 4 年度 第 3 四半期

- ・ 県内発電所からの放射性物質の放出に起因する線量上昇は観測されなかった。
- ・ 浮遊じん放射能の連続測定の結果、いずれも天然放射能のレベルであった。
- ・ 一部の試料から過去の核実験フォールアウトが主要因と考えられるセシウム 137 が検出されたが、いずれも環境安全評価上問題となるレベルではなかった。
- ・ 一部の試料から発電所の通常の放射性廃棄物管理放出に伴うトリチウムが検出されたが、いずれも環境安全評価上問題となるレベルではなかった。

令和 5 年度 計画

- ・ 線量率（緊急時モニタリングルート調査）について地点数を変更した。また、ガンマ線放出核種の放射能濃度調査等につちえ、試料数を変更した。

（発電所の運転および廃止措置状況）令和 5 年 1 月～3 月

- ・ 今期間の運転状況は、高浜 4 号機で計画外の原子炉停止があった。運転中のプラントは美浜 3 号機、高浜 3、4 号機および大飯 3、4 号機となっている。現在、県内発電所 3 基が定期検査中となっている。
- ・ 当該期間において、安全協定に基づき報告された異常事象は 1 件あった。

<主な質疑>

Q. 環境放射能調査について、陸土のセシウム量が他と比べて最大値が大きい理由は。

A. 場所によって残存しやすい土質があるため、その影響と考えている。

Q. 高浜 4 号機の原子炉自動停止について、高経年化ではないとの説明だが、いつでも起こりえるのか。

A. 建設時から荷重が掛かった状態であり、それが 37 年目に起きたことから経年の要素はある。ただし、今回は設計どおりに施行されたわけではなく、施工時に配慮が足りなかったことが原因とされており、経年劣化ではなく施工不良というカテゴリになる。

以 上